

王子保っ子の「国語」・「算数」の力と学習の様子

～『令和5年度 全国学力・学習状況調査(2023.4.18実施) 6年生対象』の結果から～

今年度は、「国語」と「算数」の学力調査が行われました。学習状況調査の結果についても紹介します。

国語

＜学習指導要領の5領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」）の結果から＞



【良いところ】

・「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域において、【川村さんの文章】の下線部イを、送り仮名に気を付けて書き直したのとして適切なものを選択する問題では、**送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことをきちんと理解していて**、学年全体としても大変良好な結果です。

・「書くこと」の領域において、【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く問題では、**図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができていて**、全国や県と比べて良好な結果です。

・「話すこと・聞くこと」の領域において、寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く問題では、**目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができています。**

【伸ばしたいところ】

・「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域において、【川村さんの文章】の特徴の説明として適切なものを選択する問題で、**文章の種類とその特徴について理解しているかどうかをみることに課題**がみられました。

・「読むこと」の領域において、資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分ができるようなことをまとめて書く問題で、**文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題**がみられました。

・漢字を文の中で正しく使う問題では、**「以外」、「期間」という漢字の誤答**が見られました。

学校では、文章と図表などの資料を読み取るとともに、それらを関連付けて読むことを通して、内容を理解したり、解釈したりする学習活動や、目的に応じて必要な情報を見つけながら読み、元の文章の構成や表現を生かしながら短くまとめる学習活動に力を入れていきます。今後も朝読書を継続し、文章に触れる時間をつくっていきます。また、新聞を教材として活用し、内容をまとめたり、討論の話題にしたりして学ぶNIEにも取り組み、新聞を読む活動も増やしていきます。

児童のみなさんは、相手や目的、自分の意図、場面や状況に応じて、話したり、聞いたり、書いたり、読んだりすることを意識して、これからの学習に取り組んでいきましょう。また、漢字の学習をするときは、ただ覚えるだけではなく、漢字辞典や国語辞典、iPadを使って、漢字の成り立ちやそれを使った熟語やその意味などを調べたり、その漢字を使って文章を書いたりしましょう。

算 数

〈学習指導要領の4領域（「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」）の結果から〉



【良いところ】

- ・「数と計算」の領域において、全部の椅子の数を求めるために、 50×40 を計算する問題では、**一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすることがしっかりできています。**
- ・「図形」の領域において、テープを折ったり切ったりしてできた四角形の名前を書く問題では、**正方形の意味や性質についてきちんと理解することができています。**
- ・「変化と関係」の領域において、運動に取り組んでいる人の割合について、示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ問題では、**百分率で表された割合について理解することができています。**また、丸椅子の数と高さの関係で、椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていないことについて、表の数を使って書く問題では、**伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができています。**
- ・「データの活用」の領域において、運動カードから、運動した時間の合計が30分以上である日数を求める問題では、**「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができています。**また、二つのグラフから、30分以上の運動をした日数が「1日」と答えた人数に着目して、分かることを書く問題では、**示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述することができています。**

【伸ばしたいところ】

- ・「数と計算」の領域において、示された日常生活の場面を解釈し、**小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断する問題や（2位数） \div （1位数）の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考える問題に課題がみられます。**
- ・「図形」の領域において、テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く問題で、**高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がみられました。**

学校では、繰り返し学習を計画的に実施するとともに、学習した算数の知識や技能を日常生活で活用する機会を増やし、基礎・基本の学習内容が身につくようにしていきます。また、計算コンクールを引き続き実施し、計算の定着を図ります。また、下学年の問題にも定期的に取り組み、確実に身に付くようにしていきます。その際、誤答を含めた複数の回答を提示し、間違いやすいポイントを話し合うことで、正しく計算するために必要な決まりや考え方を確認していくようにします。

児童のみなさんは、落ち着いて問題文を読み、正確に計算することを心がけましょう。ご家族でお菓子や飲み物を分けたり、体育で記録を測ったりする時など、算数には活用できる場面がたくさんあります。いろいろな場面で、「算数ではどうなるのかな？」と考えてみるといいですね。

学習・生活の様子

質問に肯定的に答えている児童ほど学力調査の正答率が高くなる傾向が見られます。

◎は、よい傾向、▲は、心配な傾向



【家庭や地域に関すること】

◎ほとんどの児童が朝食を毎日食べており、毎日同じ時刻に寝たり起きたりできる児童の割合も高く、規則正しい生活が身についています。

◎今住んでいる地域の行事に参加している児童の割合が、国・県平均と比べて高い傾向があります。

▲家で自分で計画を立てて学習をしている児童が少なく、土曜日や日曜日など学校が休みの日に学習している時間が少ない傾向にあります。休日にも家庭で計画を立てて学習する時間を持つ習慣を身につけましょう。

【自分自身に関すること】

◎ほとんどの児童が将来の夢や目標を持っていて、自分にはよいところがあると思っています。

◎ほとんどの児童が、いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っています。また、普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがあるとおもっています。

▲読書が好きな児童の割合は、国・県平均と同じくらいの傾向にあるものの、普段、授業時間以外に、1日当たりの読書をする時間が少ない傾向にあります。家庭でも本に向かう時間を増やしましょう。

▲普段から新聞を読んだり、ニュースを見たりしている児童の割合が低いようです。学校の掲示板に新聞コーナーをつくり小学生新聞を掲示しているので、それを読んだり、世の中の新しいできごとに注目したりする習慣を身につけましょう。

【学校に関すること】

◎多くの児童が、学校に行くのが楽しいと思っています。また、友達関係に満足しています。

◎多くの児童が、学校で先生は、自分のよいところを認めてくれていると感じています。

◎学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思うと答えた児童の割合が、国・県平均と比べて非常に高い傾向があります。また、多くの児童が学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると答えています。

▲普段、PC・タブレットなどのICT機器を学校の授業時間以外に、学習のために使っている時間が少ない傾向があります。持ち帰っているタブレットを、学習以外のことに使うのではなく、今日学習したことをふりかえったり、次に学習することを調べたりすることに使うように心がけましょう。